

式文

ただいまここ日泰寺に、○○○○株式会社、○○○○株式会社、監査役故○○○殿の御霊を迎え合同社葬の礼を似て葬送の式を行うに当り、謹んで哀悼の意を捧げます。

青葉茂る今日ここに幽明鏡を異にして、あなたとお逢い致しますことは悲しき定めとは申しながら、おろかな私にとり堪え難い悲しみでございます。

あなたは明治○年○月○日のお生まれであり昭和○年には御夫君の会長故○○○殿を助け○○区○○町に○○○を創設してコンクリート二次製品の製造、道路舗装の業を起こされました。以来内助の功を積まれ、時には資金繰りに奔走され、あるいは自ら多勢の作業員の食事の世話に汗を流されていたお姿が昨日の様にまぶたに浮かびます。思えば○○○殿の指定業者となり又名古屋市の道路舗装業者として第一号のスクームローラーを導入したのもこのころでありました。

この様にして家業繁栄の礎を築かれ、戦後復興期の昭和○年に東海地方最初の生コン工場を建設するに当り、積極的な資金面の援助をされ当社が生コン業界に先発業者としての地位を確立するにいたったことの功績は、誠に大きなものでございました。

業容の伸展拡大に伴い組織も法人に改組されまして、あなたが還暦を迎えられた昭和○年には○○○株式会社はじめ各社の監査役に順次就任されまして蓄積された経験を生かされ厳しさの中にも心温かい御教導を賜りました。

又あなたは博愛心に富み信仰心が深くあられて、人知れず日本赤十字社などに多額の御寄付をされておられました。

近年はますます円満に、いよいよ健かに過ごされておられ、私ほか従業員一同も常に慈母として仰ぎ、尊敬申し上げて参りましたところでありますのに、突然不幸にも病を得られて、御親族の方々の必死の御看病も、薬石の功も及ばず昭和○年○月○日、午後○時○分、八十五才の天寿を全うされて御他界されました。全く夢のような気がしますし、夢であって欲しいとも願わずにはいられません。

今は幽明鏡を異にして再び温顔を拝することは出来なくなりましたけれども、私どもは、あなたの残された家庭的な融和を旨とする御意志を受けつぎ、一致団結して社業の伸展に尽力いたしますことを固くお誓い申し上げます。なにとぞ安らかにお眠り下さいますよう心からお祈り申し上げます。

慈に謹んで式文を捧げ御霊のご冥福をお祈り申し上げます。

平成○年○月○日

葬儀委員長 ○○○○